

LATEST RESULTS OF ARCHAEOLOGICAL EXCAVATION INVESTIGATION

平成29年度日田市埋蔵文化財センター 企画展「最新の発掘調査成果展」について

この企画展は、ここ10年ほどの発掘調査成果のうち、日田市の新たな歴史発見につながった遺跡を取り上げて紹介するものです。

例えば、これまで知られていなかった縄文時代や弥生時代の大集落が上井手遺跡や柳ノ本遺跡で発見されたり、最古級の豪族居館跡として知られる小迫辻原遺跡では、全容解明に向けた調査により新たな謎も出てきました。また、長年の謎だった古代日田郡政庁の場所も大波羅遺跡の調査で発見されました。そのほか、中世武家屋敷群の姿が慈眼山遺跡の調査を通してあらわになるとともに、天領日田の始まりとなった永山城跡の様相も明らかになりつつあります。

このようなさまざまな歴史的発見を、パネルや遺物を用いてご紹介します。

文化財保護課長

2017/8/27 SUN - 2018/3/30 FRI

休館日 土・日・祝日・12/29～1/3 休館
※8/27のみ開館

開館時間 9:00～16:00

展示会場 日田市埋蔵文化財センター展示室
(〒877-0078 大分県日田市友田2893-44)

内容についてのお問い合わせは

文化財保護課埋蔵文化財係

〒877-8601 大分県日田市田島2-6-1

TEL 0973-24-7171

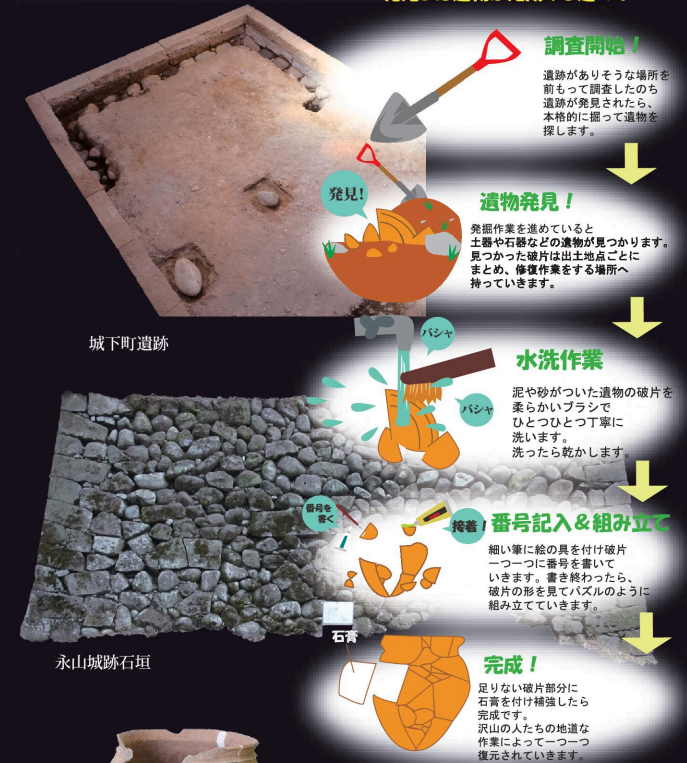
<http://www.city.hita.oita.jp>



君は新たな歴史の証人となる

日田盆地の縄文大集落
姿を現した未知の弥生集落と墓地
日本最古級の豪族居館の新たな謎
ついに見つかった古代日田の役所跡
中世日田・大蔵家臣団の暮らし
天領日田の始まりの城
平成の大修理 - 重要文化財草野家住宅の発掘調査 -

発見した遺物が完成するまでの



※遺物とは、土器や石器など調査で発見された物の総称です。



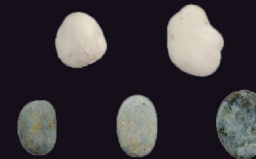
甕棺(柳ノ本遺跡)



播鉢(慈眼山遺跡)



深鉢(上井手遺跡)



玉砂利(大波羅遺跡)



高坏(小迫辻原遺跡)

ご自由にお持ち帰りください

4 ついに見つかった古代日田の役所跡

【大波羅遺跡】奈良時代～平安時代（8～9世紀）

古代日田郡政府（役所）は長年その場所が謎とされてきたが、近年の調査によって日田高校グラウンド付近でカヤ製の柱木が整然と並ぶ大型柱穴群、大型建物跡や廃棄された瓦用硯などの遺物が発見された。限られた調査範囲ではあるが、柵で囲まれた敷地内には玉砂利が敷かれ、その内部では役人が政務を行っていた姿が想像される。周辺の役人の居宅などとともにこの一帯がこの時代の政治の中心地であったと考えられる。



大型柱穴群出土状況

5 中世日田・大蔵氏家臣団の暮らし

【慈眼山遺跡】室町時代（15～16世紀）

平安時代末期に台頭し、鎌倉・室町時代に日田を治めた大蔵氏は、本拠地として慈眼山に城を構えたとされている。近年の発掘調査では、城の南側を大規模に造成して、水路で区画された敷地に規格的に建物や井などを配置する様子が判明するとともに、陶磁器・武具などの生活用具が出土した。こうした様相から城下に整備された武家屋敷と家臣などの武士の暮らしが明らかになりつつある。



水路区画調査状況

6 天領日田の始まりの城

【永山城跡】江戸時代（17世紀）

この城は、関ヶ原の戦い後、徳川方の代官・小川光氏により慶長6年（1601）に築城されたのち、日田藩主石川忠総などにより現在の形に改修されるとともに、南麓に城下町・豆田が造られ、近世日田の繁栄の礎となった。その歴史的重要性から、平成28年2月に県史跡に指定されたが、4月に発生した熊本地震により天守と大手の石垣が崩落した。現在、平成31年を目処に復旧の取り組みを行っている。



森家絵図（部分）

展示遺跡紹介



遺跡
MAP

1 日田盆地の縄文大集落

【上井手遺跡】縄文時代後期～晩期（4千年～3千年前）

盆地の東部の奥まった谷筋で見つかったこの遺跡は、縄文時代後期頃としては市内唯一の規模を誇る大量の土器や石器が出土した。廃滅の少ない土器や石皿などの大型石器が比較的多く出土していることから、集落そばのゴミ捨て場だったのではと考えられる。遺跡周辺は丘陵に囲まれた湿地で、土偶も出土していることから、このあたりで狩猟や採集を行いながら祭を行うなど、長期間にわたる一大拠点集落であったと目される。



土器出土状況

2 姿を現した未知の弥生集落と墓地

【柳ノ本遺跡】弥生時代中期～古代（1～8世紀）

今から30数年前に大型土壙が偶然発見されて以来、謎につつまれていたこの遺跡は、近年の調査によって、大河川沿いの恵条件の土地でありながら、弥生時代から古代までの密度の高い集落と、地域の有力層を大型成人用壙棺墓などに埋葬した墓地で構成される複合遺跡であったことが解明されつつある。日田の古代人たちが河川氾濫の危険を顧みず微高道を巧みに利用してきた様子を知ることが出来る。



墳墓群調査状況

3 日本最古級の豪族居館の新たな謎

【小迫辻原遺跡】弥生時代末～古墳時代初期（3世紀）

弥生時代から古墳時代に営まれた環濠集落と祭祀色の濃い方形環濠建物などで構成される日本最古級の豪族居館が見つかった遺跡として知られる小迫辻原遺跡では、平成24年度から5年間にわたり、その全容解明に向けた発掘調査が実施された。この調査では環濠集落など従来から想定されていた遺構の様相が明らかとなった一方で、西側台地端を巡る新たな溝が発見された。この溝が台地全体を囲む環濠となるのかなど新たな謎がもたらされつつある。



溝状遺構調査状況

近代

近世

中世

古代

古墳

弥生

縄文

旧石器

歴史年表

1868年

- 明治政府が成立する
- 永山城跡に日田県庁が設置される
- （一八六八年）（明治元年）
- （一八六九年）（明治二年）
- （一八七〇年）（明治三年）
- （一八七一年）（明治四年）
- （一八七二年）（明治五年）
- （一八七三年）（明治六年）
- （一八七四年）（明治七年）
- （一八七五年）（明治八年）
- （一八七六年）（明治九年）
- （一八七七年）（明治十年）
- （一八七八年）（明治十一年）
- （一八七九年）（明治十二年）
- （一八八〇年）（明治十三年）
- （一八八一年）（明治十四年）
- （一八八二年）（明治十五年）
- （一八八三年）（明治十六年）
- （一八八四年）（明治十七年）
- （一八八五年）（明治十八年）
- （一八八六年）（明治十九年）
- （一八八七年）（明治二十年）
- （一八八八年）（明治二十一年）
- （一八八九年）（明治二十二年）
- （一八九〇年）（明治二十三年）
- （一八九一年）（明治二十四年）
- （一八九二年）（明治二十五年）
- （一八九三年）（明治二十六年）
- （一八九四年）（明治二十七年）
- （一八九五年）（明治二十八年）
- （一八九六年）（明治二十九年）
- （一八九七年）（明治三十年）
- （一八九八年）（明治三十一年）
- （一八九九年）（明治三十二年）
- （一九〇〇年）（明治三十三年）
- （一九〇一年）（明治三十四年）
- （一九〇二年）（明治三十五年）
- （一九〇三年）（明治三十六年）
- （一九〇四年）（明治三十七年）
- （一九〇五年）（明治三十八年）
- （一九〇六年）（明治三十九年）
- （一九〇七年）（明治四十年）
- （一九〇八年）（明治四十一年）
- （一九〇九年）（明治四十二年）
- （一九一〇年）（明治四十三年）
- （一九一一年）（明治四十四年）
- （一九一二年）（明治四十五年）
- （一九一三年）（明治四十六年）
- （一九一四年）（明治四十七年）
- （一九一五年）（明治四十八年）
- （一九一六年）（明治四十九年）
- （一九一七年）（明治五十年）
- （一九一八年）（明治五十一年）
- （一九一九年）（明治五十二年）
- （一九二〇年）（明治五十三年）
- （一九二一年）（明治五十四年）
- （一九二二年）（明治五十五年）
- （一九二三年）（明治五十六年）
- （一九二四年）（明治五十七年）
- （一九二五年）（明治五十八年）
- （一九二六年）（明治五十九年）
- （一九二七年）（明治六十年）
- （一九二八年）（明治六十一年）
- （一九二九年）（明治六十二年）
- （一九三〇年）（明治六十三年）
- （一九三一年）（明治六十四年）
- （一九三二年）（明治六十五年）
- （一九三三年）（明治六十六年）
- （一九三四年）（明治六十七年）
- （一九三五年）（明治六十八年）
- （一九三六年）（明治六十九年）
- （一九三七年）（明治七十年）
- （一九三八年）（明治七十一年）
- （一九三九年）（明治七十二年）
- （一九四〇年）（明治七十三年）
- （一九四一年）（明治七十四年）
- （一九四二年）（明治七十五年）
- （一九四三年）（明治七十六年）
- （一九四四年）（明治七十七年）
- （一九四五年）（明治七十八年）
- （一九四六年）（明治七十九年）
- （一九四七年）（明治八十年）
- （一九四八年）（明治八十一年）
- （一九四九年）（明治八十二年）
- （一九五〇年）（明治八十三年）
- （一九五一年）（明治八十四年）
- （一九五二年）（明治八十五年）
- （一九五三年）（明治八十六年）
- （一九五四年）（明治八十七年）
- （一九五五年）（明治八十八年）
- （一九五六年）（明治八十九年）
- （一九五七年）（明治九十年）
- （一九五八年）（明治九十一年）
- （一九五九年）（明治九十二年）
- （一九六〇年）（明治九十三年）
- （一九六一年）（明治九十四年）
- （一九六二年）（明治九十五年）
- （一九六三年）（明治九十六年）
- （一九六四年）（明治九十七年）
- （一九六五年）（明治九十八年）
- （一九六六年）（明治九十九年）
- （一九六七年）（明治一百年）
- （一九六八年）（明治一百〇一年）
- （一九六九年）（明治一百〇二年）
- （一九七〇年）（明治一百〇三年）
- （一九七一年）（明治一百〇四年）
- （一九七二年）（明治一百〇五年）
- （一九七三年）（明治一百〇六年）
- （一九七四年）（明治一百〇七年）
- （一九七五年）（明治一百〇八年）
- （一九七六年）（明治一百〇九年）
- （一九七七年）（明治一百一十年）
- （一九七八年）（明治一百一十一年）
- （一九七九年）（明治一百一十二年）
- （一九八〇年）（明治一百一十三年）
- （一九八一年）（明治一百一十四年）
- （一九八二年）（明治一百一十五年）
- （一九八三年）（明治一百一十六年）
- （一九八四年）（明治一百一十七年）
- （一九八五年）（明治一百一十八年）
- （一九八六年）（明治一百一十九年）
- （一九八七年）（明治一百二十年）
- （一九八八年）（明治一百二十一年）
- （一九八九年）（明治一百二十二年）
- （一九九〇年）（明治一百二十三年）
- （一九九一年）（明治一百二十四年）
- （一九九二年）（明治一百二十五年）
- （一九九三年）（明治一百二十六年）
- （一九九四年）（明治一百二十七年）
- （一九九五年）（明治一百二十八年）
- （一九九六年）（明治一百二十九年）
- （一九九七年）（明治一百三十年）
- （一九九八年）（明治一百三十一年）
- （一九九九年）（明治一百三十二年）
- （二〇〇〇年）（明治一百三十三年）
- （二〇〇一年）（明治一百三十四年）
- （二〇〇二年）（明治一百三十五年）
- （二〇〇三年）（明治一百三十六年）
- （二〇〇四年）（明治一百三十七年）
- （二〇〇五年）（明治一百三十八年）
- （二〇〇六年）（明治一百三十九年）
- （二〇〇七年）（明治一百四十年）
- （二〇〇八年）（明治一百四十一年）
- （二〇〇九年）（明治一百四十二年）
- （二〇一〇年）（明治一百四十三年）
- （二〇一一年）（明治一百四十四年）
- （二〇一二年）（明治一百四十五年）
- （二〇一三年）（明治一百四十六年）
- （二〇一四年）（明治一百四十七年）
- （二〇一五年）（明治一百四十八年）
- （二〇一六年）（明治一百四十九年）
- （二〇一七年）（明治一百五十年）
- （二〇一八年）（明治一百五十一年）
- （二〇一九年）（明治一百五十二年）
- （二〇二〇年）（明治一百五十三年）
- （二〇二一年）（明治一百五十四年）
- （二〇二二年）（明治一百五十五年）
- （二〇二三年）（明治一百五十六年）
- （二〇二四年）（明治一百五十七年）
- （二〇二五年）（明治一百五十八年）
- （二〇二六年）（明治一百五十九年）
- （二〇二七年）（明治一百六十年）
- （二〇二八年）（明治一百六十一年）
- （二〇二九年）（明治一百六十二年）
- （二〇三〇年）（明治一百六十三年）
- （二〇三一年）（明治一百六十四年）
- （二〇三二年）（明治一百六十五年）
- （二〇三三年）（明治一百六十六年）
- （二〇三四年）（明治一百六十七年）
- （二〇三五年）（明治一百六十八年）
- （二〇三六年）（明治一百六十九年）
- （二〇三七年）（明治一百七十年）
- （二〇三八年）（明治一百七十一年）
- （二〇三九年）（明治一百七十二年）
- （二〇四〇年）（明治一百七十二年）

永山城跡

城下町遺跡

慈眼山遺跡

大波羅遺跡

小迫辻原遺跡

柳ノ本遺跡

上井手遺跡

遺跡の歴史表